

第4回 日向工業高等学校建築科「よのなか教室」

平成27年7月8日（水）

講師：今村桃代（桃甫）氏【書家】

テーマ：「自分らしく生きることの大切さ」

長年、日向市内で書道教室を主宰するかたわら、小学校へのボランティアで書道教室を行っています。皆さんの中にも数名、小学校時に一緒に勉強した人がいます。

【大小多数の筆を見せて】この筆は何の毛で出来ていると思いますか？馬のたてがみや、人間の赤ちゃんの髪の毛、狸の毛など書くものによって使い分けます。

【実演】何か書いて欲しい文字はありますか？では誰かの名前を書きましょう。

4m四方形の紙に、生徒の名前を書いていただきました。大きな筆で、大胆に書かれた文字に皆驚き、大きな拍手が湧き起こりました。次に「建築」と書いていただき、クラスのシンボルとして教室に掲げることにしました。

物心ついた時から、父親の影響で中国の書が沢山あり、慣れ親しんでいた事が書を始めのきっかけです。小学校の頃、先生から「うまいね、うまいね」と褒められたことで更に好きになりました。大人になって本格的に活動を始めた頃、美術展などの慣行に疑問を持ち「自分らしい人生を選びたい、自分らしい作品を書きたい」と思うようになりました。美々津和紙に書いた作品が美展に当選したときは、すごく嬉しかったです。「人生にとって大切なものは、勇気と創造力そして少々のお金である」チャールズ・チャップリンの言葉です。私が大好きな言葉です。この言葉は是非覚えておいて下さい。

日向市内には、文化が根付く建築物が有りません。本当に悲しい事です。皆さんは建築を学んでいるので、将来素晴らしい人間性を磨く建物を建てて下さい。期待しています。

最後に、生徒一人一人の氏名を書いた短冊をいただきました。



～生徒の感想より抜粋～

私たちの生活は、沢山の活字であふれています。現代では、その多くをコンピュータで作ることが主流です。しかし、時代が移り変わっても、気持ちがこもった暖かい手書きの文字が好まれる場面はいくつもあると思います。書のプロであり、美しい文字を書くことを仕事としている書道家は、作品を制作するだけでなく、様々な場面で活躍することができます。私は自宅に帰り、いろいろ調べてみて知りました。神社や寺院では、掲示物や各種表示など、達筆だらけだということです。今回の実演を見て、美しい姿勢、時に力強くしなやかな筆遣い、筆が紙と擦れる小気味いい音、書道家の魅力はその作品のみならず、制作の際の美しい所作にもあることを知りました。特に、大きな筆で大きな紙に全身で文字を書くダイナミックなパフォーマンスは見ていて圧倒されました。テレビでは何度か見たことがあります。改めて目の前で見ると、迫力があって魅了されました。私は、今まで書道には関心がありませんでしたが、これを機会に書道家の魅力に触れてみたいと思いました。そしてもっと、日本の文化を感じることができるとうれしいです。＜平坂弥来＞

私はこれまで、先生に「字がきたない」と言われることが多く、何とかしたいとは思っていましたが、今でもたいして変わったとは言えません。心の中では、ちゃんと丁寧に書いて、大人になってから困らないようにしなければならないと思う反面、パソコンで文字を打ったり、スマートフォンなどの SNS から文字を送ったりすることもできるので、将来文字を書くことも無いのかな、と考えているのも事実です。しかし、今日のパフォーマンスで迫力のある大きな字をみてから、いろいろなことを考えることができました。文字は直筆で書いたほうが、パソコンの活字より何倍も気持ちが伝わるといことです。人の気持ちを動かすと感じたのは、先生が書いてくださった「建築」という文字です。普段、毎日使っている言葉ですが、先生が懸命に書いた文字は、皆関心を持っていろんな意見を言っていました。「かっこいい」「迫力があってすごい」など、それぞれの見かたができるのも直筆ならではのようです。これから、先生みたいに上手に書けなくてもいいので、自分のできるベストな字で書けるように心がけようと思いました。＜渋谷駿太＞

よのなか教室も4回目、今日は習字の先生である今村桃代さんでした。僕は沢山心を動かされました。習字は、見ている相手を喜ばせたり、周りを笑顔にさせたりできるものだという事。また、字をきれいに書くことは、自分の心をきれいにすることにもつながり、字を見せる相手にも同じことが言えると思いました。「人生にとって必要なものは、勇気と想像力、そして少しのお金」チャールズ・チャップリンの言葉です。また、「出会い、感謝を忘れないこと」。僕はこの言葉を聞いて、少し涙が出てきそうでした。今のクラスのメンバーに出会えたことに感謝しているからです。そして最後に大切な事を教えていただきました。その言葉は「有言実行」です。本当に名言だと思います。これからは、この言葉を胸に焼き付け、字をしっかりと書いて自分の心もきれいにしたいと考えています。また、先生の話を知りたいです。今日は本当にありがとうございました。＜篠原鷹斗＞